

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF手稲		
○保護者評価実施期間	2025年2月21日		～ 2025年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年2月21日		～ 2025年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカー経験のある職員が複数名いるため、サッカーに関する技術的支援に厚みがある	児童の技術の習得度や理解度に合わせ、個別支援、個別指導を行っている。	技術の習得度や理解度、年齢等でグループを作り、それぞれに合わせた練習や支援を行い、より充実した療育を行っている。
2	職員の年齢層が若いため、児童とのコミュニケーションが取りやすく、和気あいあいとした雰囲気での活動できる	一人一人の興味関心に合わせた話題を用いる事で、児童が楽しめるように支援している。	年齢相応の支援、療育を行っていただけるよう、支援策を模索していく。
3	福祉経験やスポーツ経験、スポーツ指導経験豊富な職員が在籍しているため、児童一人一人のニーズに合わせた支援を行うことができる	療育中の様子を見ながら、適宜適切な支援を行っている。	療育の振り返りを密に行う事で、一人一人に対してより適切な支援策を模索し、療育を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、地域連携	児童クラブや児童館との交流、連携が取れていない。	通所児童が通っている施設をはじめ、地域施設との連携、交流を図っていく。
2	事故や災害、非常時等の事業所としての安心安全に関する取り組みが、半数以上の保護者に伝わっていない	契約時や面談時、送迎時等で口頭で保護者に伝えているが、浸透していない事が想定される。	避難訓練等の活動の様子を発信するとともに、安全に関するマニュアルを事業所に掲示する事で見えるかを図り、児童・保護者に案陣して利用してもらえるように改善していく。
3	項目28「こどもは通所を楽しんでいますか」という問いが、100%の回答になっていない(どちらともいえないが10.5%)	一人一人に光を当てる支援が充実していないと考える。	職員間で、一人一人の児童に対しての支援策を模索するとともに、通所してくれた際には楽しく活動できるプログラムを作成し運営していく。